

「どくしょゆうびん」をしよう 「おとうとねずみ チロ」

本単元で育成する資質・能力

主体性・思考力

単元について

- 本単元は、小学校学習指導要領国語第1学年及び第2学年、「C読むこと」の指導事項「ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。」と「エ 文章中の大事な言葉や文を書き抜くこと。」の内容を受けて設定したものである。本単元では、学習指導要領の言語活動例(2)「オ 読んだ本について、好きなところを紹介すること。」を単元を貫く言語活動として位置付け、「どくしょゆうびん」で同学年の友だちに紹介することを目的として、「どくしょゆうびん」はがきを書くことを通して自分の思いをまとめることに取り組ませる。想像を広げながら読み、自分の考えをまとめる力を身に付けるとともに読書への関心を高めることをねらいとする。

教材文「おとうとねずみ チロ」は登場人物のチロの行動や気持ちを中心に描かれた物語で、登場人物の行動や会話には、気持ちの変化が素直に表れており、人物の様子を想像しながら読みやすい作品である。児童が共感的に読み、好きなところを見付け、自分の考えをまとめることができやすい教材である。

- 本学級の児童は、これまでに教材文「おおきな かぶ」の学習で、好きなところを見付けて音読する学習をしてきた。好きなところを見付け、そのときの様子や気持ちを想像して、お話を楽しみながら音読をした。教材「かいがら」や「サラダでげんき」の学習では、登場人物の行動や会話を中心に、場面の様子を想像しながら読む学習をした。登場人物の行動の様子を読み取ったり、登場人物になったつもりで想像したことを話し合ったり、登場人物に伝えたいことを話したりした。しかし、自分の考えを言葉で表現することが難しい児童は多い。好きなところを選ぶことはできても、そこから感じたこと考えたことを話したり書いたりすることに課題が見られる。また、読書を好んで行う児童は多いが、特定の本ばかりを選んでいく児童もいる。様々な登場人物に着目する視点を与えることで、読書の幅を広げることもねらいたい。

- **主体的に学ぼうとする「課題発見・解決学習」の単元開発**

指導に当たっては、**課題の設定**の段階で、主体性や目的意識をもてるような「どくしょゆうびん」との出会いにしたい。そのために導入では、教師に届いた「おとうとねずみ チロ」を紹介するはがきを提示する。郵便という日常生活と関連した手法を取ることで、児童が読んだ本の登場人物の好きなところを友だちに教えてあげたいという意欲や学習への興味・関心を高める。そして、単元のゴールとして「どくしょゆうびん」で登場人物のことを紹介するという学習活動を具体的にイメージさせる。「どくしょゆうびん」を書く活動を通して学習意欲を継続させ、主体的に学習に取り組ませる。

情報の収集の段階では、教材文の「おとうとねずみ チロ」の登場人物を紹介するという目的を持ち、登場人物の行動や会話を手がかりに場面の様子を想像しながら読み、多様な表現や感じ方を交流しながら、好きなところを見付け、自分の考えを表現できるように読み進めていく。紹介するためにまず、登場人物の行動や会話の中から好きなところを見付けて書き出していき。次に、書き出した文や言葉について感じたことや考えたことを明確にするために、複数の叙述をもとに考えたり想像した

りしてノートに書き溜めていく。その際、感じたことや考えたことが多様な表現につながるように語彙の表を活用する。最後に、これまで書き溜めてきたものの中から一番好きなどころと感じたこと考えたことをグループで交流する。交流を通して明らかになった登場人物の一番好きな行動や会話を「どくしょゆうびん」はがきの形に当てはめて掲示していくことで、「どくしょゆうびん」とのつながりを意識できるようにしていく。

整理・分析の段階では、並行読書の1つとしての別教材「花いっぱいになあれ」を活用する。これまでに学習してきた登場人物の行動や会話に着目して好きなどころを見付けることや、叙述をもとにして考えたり想像したりすることの学習を振り返りながら、登場人物の好きな行動や会話を書き出したり、それに対しての感想や想像したことなどをグループで出し合ったりする。そして、自分で「どくしょゆうびん」はがきを書いてまとめる活動へつなげることで、その後の主体的な「どくしょゆうびん」への取り組みにつなげていく。

まとめ・想像・表現の段階では、それまでに並行読書してきた本の登場人物のことを「どくしょゆうびん」はがきを書いて他のクラスの児童に紹介する活動を行う。ポストを設置し、係の児童が宛名の人物に届けることを常時活動として行うことで、たくさんの本を読んで登場人物の好きなどころを紹介し、友だちに知らせたいという意欲を継続させたい。また、はがきには「返事」という形で評価を取り入れ自分が紹介したいことが伝わったかどうかを実感させ、自己評価へとつなげる。

振り返りの段階では、自分が出したはがきを見直すことで、たくさんの人に自分の好きな本を紹介できたことを振り返らせるとともに、今後のどのような学習を行っていきたいかという意欲へつなげる。

○ 「学び合い」における協働的な思考の場の工夫

お話の好きなどころを適切に書き抜き、叙述に関係付けて自分の思いや考えを明らかにする力を育成するために「学び合い」における協働的な思考の場を工夫する。1つの叙述に着目して、同じ叙述でも多様な考えがあることに気付かせることをねらいとし、全体の間やグループで、叙述をもとに考えたことや想像したことを交流する。交流を通して感じたことや考えたことにはさまざまな表現があることに気付き、自分自身の表現に生かしていける手立てとしたい。その際、叙述と考えを関係付ける思考ツール「ねっこ図」を活用することで、感想を伝える言葉にはさまざまな表現があること、同じ叙述でも感じ方や想像することが違うことを視覚的に明らかにする。

単元の目標及び内容について

- 「どくしょゆうびん」を書くために、いろいろな物語に興味をもち、楽しんで読もうとしている。
【関心・意欲・態度】
- 登場人物の行動や会話を中心に、場面の様子や気持ちを想像しながら読むことができる。
【読むこと ウ】
- 登場人物の好きな行動や会話を書き出すことができる。
【読むこと エ】
- 感想を伝える言葉にはさまざまなものがあることに気付くことができる。
【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ（ウ）】

単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
【単元を貫く言語活動】 「どくしょゆうびん」で好きな本を紹介する。		
いろいろな物語に興味をもち、楽しんで読もうとしている。	登場人物の行動や会話を中心に場面の様子や気持ちを想像している。(ウ) 登場人物の好きな行動や会話を書き出して、思ったことや感じたことを考えている。(エ)	感じたことや考えたことを伝える言葉にはさまざまなものがあることに気付いている。(イ(ウ))

指導と評価の計画

全 11 時間 (本時 8 / 11 時間)

次	時	学習活動	評 価				
			関	読	言	評価規準	評価方法
一	1	課題の設定 (1) ○教師に届いたはがきを見て、「どくしょゆうびん」を知ることを知る。 ・「どくしょゆうびん」はがきの例を見て、学習の到達点を明確にし、学習の見通しをもつ。	○			・「どくしょゆうびん」をするためにいろいろな本を進んで読もうとしている。	行動観察
	2	情報の収集 (5) ○どんな登場人物が出て来て、どんなことをするのかを読み取る。 ・全文から登場人物がしたことや言ったことで好きなところを見つけて書き出す。		○		・登場人物の行動や会話に着目して読み、好きなところを書き出している。	行動観察 ノート
	3 ～ 5	○自分が感じたことや考えたことを叙述に即して自分の思いや考えをノートにまとめる。		◎	○	・書き出した叙述から考えたり想像したりして自分なりの言葉で書いている。 ・感じたことや考えたことを伝える言葉にはさまざまなものがあることに気付いている。	行動観察 ノート
	6	○好きなところと感じたことや考えたことを紹介する。 ・登場人物がしたことや言ったことで好きなところと感じたことや考えたことを「どくしょゆうびん」の形に合わせて紹介する。		○		・読み取ったことを「どくしょゆうびん」はがきの形に合わせて紹介している。	行動観察 ノート

次	時	学習活動	評 価				
			関	読	言	評価規準	評価方法
二	7	整理・分析（2） ○「花いっぱいになあれ」を読んで、好きなところを見付ける。 ・登場人物の行動や会話で好きなところを見付けて「どくしょゆうびん」はがきを書く。		○		・登場人物の好きな行動や会話を書き出している。	行動観察 作品
	8	○「どくしょゆうびん」はがきを仕上げる。 ・1つの叙述から感じたことや考えたことをまとめ、自分の「どくしょゆうびん」はがきを仕上げる。 【本時】		○		・感じたことや考えたことを叙述に関係付けて書いている。	行動観察 作品
三	9 ・ 10	まとめ・創造・表現（2） ○並行読書した本の中から本を選んで「どくしょゆうびん」をする。 ・相手意識をもって読んだ本から登場人物の好きなところを見付け、「どくしょゆうびん」に取り組む。 ・自分が書いた「どくしょゆうびん」はがきをグループで交流する。		○		・主体的に本を読み、登場人物の好きな行動や会話を中心に想像を広げながら読んでいる。	行動観察 作品
	11	振り返り（1） ○「どくしょゆうびん」の返事を読み、単元全体を振り返る。 ・学習を通してできるようになったことは何か、もっとやりたいと思ったことは何かについて振り返る。	○			・いろいろな本に興味をもって、読もうとしている。	行動観察 ノート

本時の学習

（1）本時の目標

- 登場人物の好きなところを書き出し、多様な意見を交流しながら、叙述に関係付けて感じたことや考えたことを書くことができる。

（2）本時の評価規準

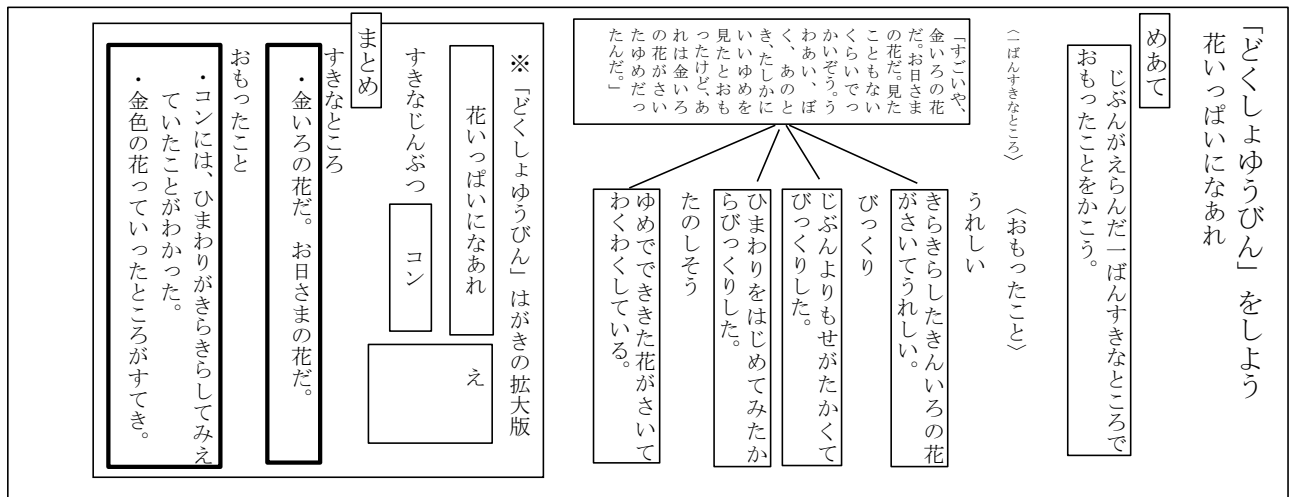
- 登場人物の行動や会話に関係付けて、感じたことや考えたことを書いている。 **【読む能力】**

(3) 本時の学習展開 (8時間目/全11時間)

<p>学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力 ☆育成したい資質・能力</p>
<p>1 前時までの学習を振り返り、本時の課題を確認する。</p>	<p>◇感じたことや考えたことを書いて「どくしょゆうびん」はがきを仕上げることを伝える。</p>	
<p>めあて _____ じぶんがえらんだ1ばんすきなところで、おもったことをかこう。</p>		
<p>2 本時で扱う叙述 (P142 L7～11) を音読する。</p> <p>3 叙述に関係付けて感じたことや考えたことを交流する。 ○今読んだ文章から自分が思ったことを短冊に書きましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>□思考の場の工夫 関係付ける ねっこ図を活用し、1つの叙述と関係付けて感じたことや考えたことを交流する。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・きらきらした金色の花がさいてうれしいと思います。 ・自分よりも背が高くてびっくりしたと思います。 ・ひまわりの花を初めて見たからびっくりしたと思います。 ・夢で出てきた花が咲いてわくわくしていると思います。 <p>4 自分の「どくしょゆうびん」はがきを仕上げる。 ○自分が選んだところで思ったことを「どくしょゆうびん」はがきにかきましょう。</p>	<p>◇叙述「すごいや、金いろの花だ。お日さまの花だ。見たこともないくらいでっかいぞう。うわあい、ぼく、あのとき、たしかにいいゆめを見たとおもったけど、あれは金いろの花がさいたゆめだったんだ。」を取り上げて、自分が感じたことや思ったことを考える。</p> <p>◇同じ考えに共感させたり、友だちの考えから新しい考えに気付かせたりする。</p> <p>◇キーワードで整理して板書し、同じ叙述でも多様な考えがあることに気付かせる。</p> <p>◇全体で考えたことをモデルとして板書し、まとめ方を提示する。</p> <p>◇自分が選んだ好きなどころを書き出し、感じたことや考えたことをまとめさせる。</p> <p>◆全体で考えたところを好きなどころとして、叙述から分かるコンの気持ちとコンに対して伝えたいことをまとめさせる。</p>	<p>☆登場人物の行動や会話で好きなどころと、感じたことや考えたことを関係付けようとしている。</p> <p>◎「どくしょゆうびん」はがきの形に合わせて、書き抜いた叙述に関係付けて感じたことや考えたことを書いている。〔読む能力〕 (行動観察・作品)</p>

<p>学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力 ☆育成したい資質・能力</p>
<p>★めざす児童の姿 (好きなどころを書き出し、叙述に関係付けて書けている。)</p> <p>好きなどころ 「すごいや、金いろの花だ。お日さまの花だ。見たこともないくらいでっかいぞう。うわあい、ぼく、あのとき、たしかにいいゆめを見たとおもったけど、あれは金いろの花がさいたゆめだったんだ。」</p> <p>思ったこと ぼくは、コンには、ひまわりがきらきらして見えていたことが分かりました。金色の花って言ったところがすてきだなと思いました。</p>		
<p>◇次時は並行読書で読んできた本の中から「どくしょゆうびん」をすることを伝える。</p>		

(4) 板書計画



<参考> 本単元で使用する思考ツール

(ねっこ図)

